

平成 16 年 8 月 31 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 夕 カ ラ
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 佐 藤 慶 太
(コード番号 7969 東証第 1 部)
問 合 せ 先 常 務 執 行 役 員 財 務 部 長 久 保 亮 三
(0 3 - 3 6 0 3 - 2 1 3 4)

服部玩具株式会社再生支援基本合意に関するお知らせ

この度、株式会社タカラ（代表取締役社長：佐藤慶太／所在地：東京都葛飾区 以下タカラ）は、服部玩具株式会社（代表取締役社長：服部達彦／所在地：名古屋市千種区 以下服部玩具）の事業再生支援を目的に、服部玩具および株式会社産業再生機構（代表取締役社長：斉藤 惇／所在地：東京都千代田区 以下 I R C J ）との間で具体的な協議を進めることに基本合意しましたので下記のとおりお知らせいたします。

1. 基本合意の概要

(1) 服部玩具が支援申請に至った経緯

服部玩具は、業界において全国第 5 位の地位を占める玩具卸売業者であり、メーカーや小売店からの信頼のもと半世紀にわたり玩具流通の主要な役割を担ってきました。しかし、大口取引先の破綻による巨額の売上債権の回収不能により、財務体質が悪化。加えて、利益管理・在庫管理・与信管理体制の未整備によるコストの増加・利益の減少により窮境に陥りました。

このような状況のもと、服部玩具及び U F J 銀行、みずほ銀行は、過剰債務を解消するとともに、スポンサーとしてのタカラ主導によるガバナンスの強化及び事業面、経営面の支援により早期の事業再生を図るべく、I R C J に支援申込をするに至りました。

(2) 事業計画方針

本件再生支援にあたり、以下のような事業再生計画に取り組む予定です。

卸売業としての事業管理能力の向上
製造問屋機能追加による収益の拡大

(3) 企業再編（ストラクチャー）

本件再生支援にあたり、以下のストラクチャーを予定しています。

服部玩具は会社分割の方法により、タカラの全額出資による子会社（受皿会社）に対し、事業価値を超える金融債務を除いた玩具卸売業に関する全ての営業を承継させます。タカラは受皿会社に対し 5 億円の出資を行う予定です。

会社分割後の服部玩具は、特別清算により清算する予定です。

会社分割後の事業承継会社に関する商号、経営体制など詳細は今後検討し、

決定していく予定です。

(4) 金融支援の概要

会社分割後の服部玩具は、取引金融機関に対し、約 52 億円の金融支援（特別清算による債権放棄）を要請する予定です。

2. 対象会社（服部玩具）の概要

(1) 商 号 服部玩具株式会社

(2) 代 表 者 代表取締役 服部 達彦

(3) 所 在 地 名古屋市千種区今池南 4 番 1 号

(4) 設 立

昭和 26 年 3 月（1951 年）名古屋特産玩具の卸業を現会長が個人創業

昭和 28 年 2 月（1953 年）服部玩具株式会社を設立

(5) 主な事業の内容 TVゲーム、玩具の卸販売

(6) 決 算 期 7 月末

(7) 従 業 員 数 正社員 131 名（男 105 名、女 26 名）

(8) 主 な 事 業 所

本 社： 名古屋市千種区

東京支店： 東京都台東区蔵前

営 業 所： 札幌、仙台、大阪、福岡

(9) 資 本 の 額 24 百万円

(10) 発行済株式総数 普通株式 480 株（非公開）

(11) 大株主構成および所有割合

服部孝夫 19.8%

服部達彦 19.2%

服部喜代子 19.2%

服部暁彦 12.5%

服部徳子 11.5%

(12) 最近事業年度における業績の動向

	平成 14 年 7 月期	平成 15 年 7 月期
売 上 高	23,707 百万円	25,077 百万円
売 上 総 利 益	1,556 百万円	1,618 百万円
営 業 利 益	273 百万円	320 百万円
経 常 利 益	46 百万円	92 百万円
当 期 利 益	242 百万円	38 百万円
総 資 産	13,369 百万円	12,973 百万円
株 主 資 本	1,254 百万円	1,293 百万円
1 株当たり配当金	-	-

3. 日程

8月31日 基本合意締結 / I R C J 支援決定

11月下旬 会社分割契約 / 事業譲渡契約締結

11月下旬 I R C J 買取決定

1月31日 会社分割

2月1日 会社分割登記

4. 今後の見通し

本件会社分割による事業統合は2005年2月1日を予定しており、今期の業績に対する影響は軽微であると見込まれます。今後の業績見通しについては、事業再生計画に従って詳細を検討していくことを予定しておりますが、本件支援が国内玩具流通の活性化などタカラはもとより業界にとっても、意義深いものとなることを期待しております。

以上